

摩周湖

藤原定

山峡の底で集中する意志が
水面をまるくし
しかも意志すべき何ものもない
高い放心の眼

その地の巨いなる眼から
百千の鋭い鳥が
さッと飛び立つかに見えた
が——小波がわずかにきらめいたにすぎない

沈黙の中で
あらゆる言葉を成熟させ
最初の微かな身振りで
一切を語り終える

その地の底深い眼の中へ
吸い入れられないために
カムイヌプリ岳は
稜角で抗いながら個我に成る

（1954）